

普及現地情報

発信年月日：令和2年(2020年)12月3日
所属名：湖東農産普及課
番号：F20019
部門分類：150 野菜
発信者名：中川, 中島

地元小学生による多賀にんじんの収穫体験が開催されました

11月27日に多賀町の多賀にんじん栽培ほ場で地元小学生による収穫体験が開催されました。この収穫体験は5年ほど前から授業として行われており、今年は1・2年生併せて15名が参加しました。当日はJAの営農指導員から多賀にんじんや環境こだわり農産物の説明を聞き、生産者に収穫方法を教えてもらいながら収穫を行いました。

多賀町でのニンジン栽培は学校給食へ安全安心な農産物の出荷を行うために、昭和58年頃より始まりました。平成17年には品質の均一化を行うために、「多賀にんじんクラブ」が組織化され、平成21年ごろからJAや当課指導のもと機械化一貫体系を確立し、省力的な栽培を実践しています。今年度は約3haで栽培が実施されており、生産されている全ほ場で環境こだわり農産物の認証を取得しています。

今年は8月のは種時期の降雨が平年の半分以下で、例年以上の高温乾燥条件となり、灌水管理に苦労がありました。9月以降の生育は順調で味も甘みが凝縮されて肌艶もよく仕上がっています。

多賀にんじんの収穫は3月上旬ごろまで行われ、量販店やJA東びわこの直売所に随時出荷されます。

当課では来年に向けて、栽培の振り返り・新しい品種の検討など、今後も指導・助言を行っていきます。



多賀にんじんの説明を聞く地元小学生



ニンジンをかっぱい引き抜いて収穫